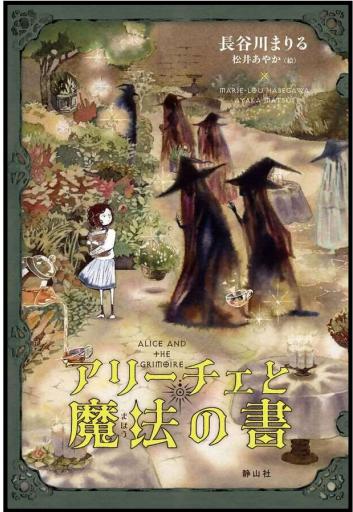


アリーチェと魔法の書

長谷川まりる／作 松井あやか／画
静山社 91頁

魔法使いしか読むことのできない、世界に1冊しかない「本」。これは代々「守り手」が受け継ぎました。「守り手」は魔法が使えないのにこの「本」を読むことはできず、ページをめくっても真っ白なページしか見えないはずでした。それなのに13歳になり新たなく「守り手」となった少女アリーチェには、「本」の文字をすべて読むことができてしまったのです。そしてアリーチェのもとに届いた予言の手紙に従い、魔女に会いに行くことで、魔法界の運命を変えていきます。



図書館	月	火	水・木・金	土・日
中央図書館 042-564-2454	午前10時 ～午後5時	休館	午前10時 ～午後7時	午前10時 ～午後5時
桜が丘図書館 042-567-2231	休館		午前10時～午後7時	
清原図書館(8月～12月末まで 休館) 042-564-2944				

*定期休館日

【中央図書館】火・第3木・祝日(土日と重なる場合は開館)

【桜が丘図書館・清原図書館】月(祝日の場合は開館)・第3木・祝日の翌日(祝日の翌日が土日の場合は、翌週火曜休館)

*中央図書館2階は工事のため立ち入りできません。

清原図書館は12月末まで工事のため休館し、新堀地区会館で臨時窓口を開設しています。臨時窓口の詳細はお尋ねください。

資料検索、予約、工事休館のお知らせなど最新情報は

東大和市立図書館公式ホームページから。

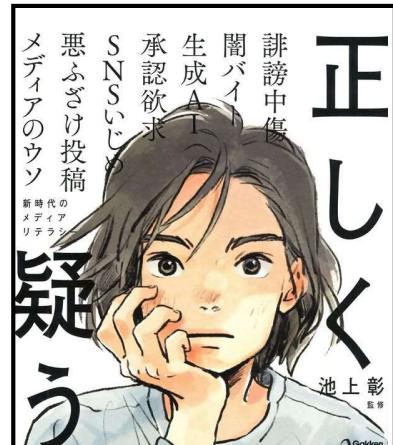


スマホで図書館！市公式LINEでお友達登録→利用カードの番号表示や図書館ホームページへのアクセスが簡単、資料検索もラクラク。



正しく疑う —新時代のメディアリテラシー—
池上彰／監修 Gakken 03

中学・高校共通おすすめ本



現代社会では、スマートフォンやタブレットでニュースを見たり、SNSで動画やコメントを見たりすることはあたりまえになりました。

その中には、本当のことやうそのこと、まちがったことが入り混じっていることがあります。中高生の皆さんはそれを見分ける自信がありますか？

テレビのニュース解説でおなじみの池上彰さんが、情報とどうつきあえばいいかを難しい言葉を使わず、わかりやすく教えてくれる本です。

この本を読んで、情報を使うときに必要な考える力を身につけましょう。

こちら、沖縄美ら海水族館動物健康管理室。

—世界一の治療をチームで目指す—

岩貞るみこ／文 サタケシュンスケ／イラスト 講談社 911

ある日、イルカが尾びれを怪我してしまい仲間とともに泳ぐことができなくなってしまいました。

昨日まで元気に泳いでいたイルカの尾びれがどんどん壊死していくのを見た飼育員は、人工尾びれプロジェクトを決意します。

沖縄美ら海水族館の生き物の健康を管理する「動物健康管理室」で獣医師や看護師、検査担当者が飼育員と一つのチームとなって命を守るノンフィクションです。



魔女だったかもしれないわたし

エル・マクニコル／著 櫛田理絵／訳 PHP研究所 937

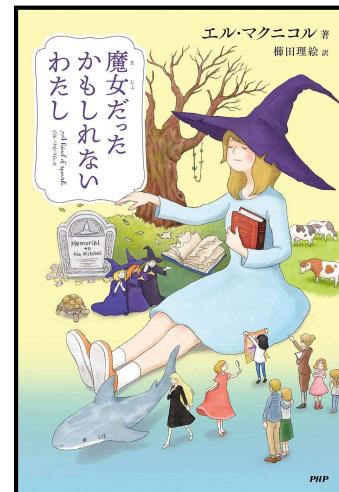
スコットランドの小さな村に住む自閉症のアディ。まわりの人と少しちがう考え方や感じ方をする女の子です。

アディはある日、昔の歴史を知ります。「人とちがう」という理由だけで魔女と呼ばれ、ひどい目にあった人たちがいたことを。

昔の魔女狩りという悲しい歴史を通してアディは、「人はみんな、それぞれちがっていいんだ」と気づいていきます。

アディが悩みながらも勇気を出して行動する姿は読む人の心をつかむでしょう。

* 続編「魔女だったかもしれない キーディの物語」も一緒にどうぞ。



いつか、あの博物館で。—アンドロイドと不気味の谷—

朝比奈あすか／著 東京書籍 917

性格も得意なことも、それぞれ違う中学生の4人。彼らは校外学習でロボット博物館を訪れます。そこで出会ったのは、博物館の目玉の美しすぎるアンドロイドの気象予報士。それを見た一人の中学生が「不気味の谷」だよと言いました。ロボットが気味悪く感じる中で彼らは考えはじめます。

A.I.やアンドロイドが、本物の人間のように話したり笑ったり身近になっていく今の時代に生きるというのはどういうことか?心はどこにあるか?ということを教えてくれる一冊です。



閉じこめられた「森の人」

ミッシェル・カダルスマン／著 村上利佳／訳 あすなろ書房 937

森を守るために活動するマリア。都会の中学校に通うアリ。おりの中に監禁されたオランウータンのジンジャー。

インドネシアの森の奥で生きる3つの視点に隠された秘密と、人ととのつながりを描いた少しへミステリアスで心温まる物語です。

森という静かな場所での出会いを通して、3人の物語が重なり合うとき、森がなくなることの自然の大切さや人間と動物の共生を考えるきっかけをくれる本です。

